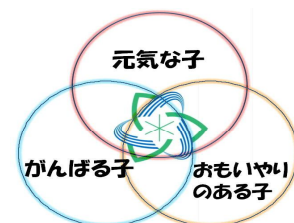


令和8年度 学校経営の方針

目指す学校像

地域とともに歩み、地域で育ち、地域に必要とされるゆり支援学校

【 目指す子ども像 】



1 教育目標

児童生徒一人一人の生命及び人権を尊び、障害の特性や状態、発達段階に応じた適切な教育を行い、その可能性を最大限に追求して自立と社会参加を目指すとともに、明るく豊かな心をもった人間を育成する。

2 経営の基本方針 ～子どもが主役の学校づくり～

- (1) 多様な実態の児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じ、子どもの思いや願いに寄り添った学びを実現する。
- (2) 安全・安心で主体的な学びを支える教育環境を整える。
- (3) 地域の中で豊かに生きる力を育む教育課程を編成・実施する。

3 目指す教師像

- (1) 穏やかで教育愛に満ち、児童生徒や保護者に安心感を与える教師 **元気**
- (2) 常に研鑽を重ね、専門性の高い教育を実践する教師 **がんばる**
- (3) 互いを尊重し、協働して困難な場面にも粘り強く対応する教師 **おもいやり**

4 重点事項

- (1) 一人一人の人権の尊重と多面的・多角的な児童生徒理解に基づいた指導
 - ・自己指導能力の獲得を支える生徒指導の実践上の視点を意識した指導の推進
 - ・キャリアパスポート「未来へのスケッチ」や「おおぞらシート」を活用した児童生徒との対話による自己理解の伸長
 - ・「自立活動シート」や「相談ルーム」、臨床心理士からの助言等を活用した、チームによる児童生徒理解と自立活動の指導の充実
 - ・P D C Aサイクルを機能させた危機管理マニュアルの見直しと実践的な訓練による災害時の適切な行動を判断する力の育成
- (2) 児童生徒一人一人が学びの充実感を味わえる授業の展開
 - ・授業デザインミーティングや模擬授業を通した子どもの思いや願いに寄り添い「わかる、できる」が実感できる授業づくり
 - ・家庭学習を含めたICTを効果的に活用した学習の実施
- (3) 互いに認め合う心を育む学びの推進
 - ・交流校との協働による居住地校交流、学校間交流の促進と障害理解学習の拡充
 - ・児童生徒の自己有用感を高める異学年交流や主体性を育む特別活動の促進
- (4) コミュニティ・スクールを活用した多様な教育活動の展開
 - ・日常の教育活動との関連や活動のねらいを明確にした地域資源の効果的な活用
 - ・学校運営協議会委員や地域住民を対象とした学校見学会や授業体験、積極的な地域交流や発信による障害理解の推進
- (5) 「特別支援学校生の雇用創出・就労促進事業」を活用した職業教育の推進
 - ・学部間のつながりを意識した他学部見学・体験や早期からの職場見学・体験の計画的な実施
 - ・地域企業を対象とした障害理解講座や産学官の相互理解を深める懇談会の開催